

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月1日

上場取引所 JQ

上場会社名 ディービーエックス株式会社

コード番号 3079 URL <http://www.dvx.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(氏名) 若林 誠

(氏名) 田島 恵美子

TEL 03-5985-6827

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	11,549	21.6	461	62.2	497	59.2	273	55.7
21年3月期第3四半期	9,494	—	284	—	312	—	176	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	196.56	195.58
21年3月期第3四半期	129.08	128.00

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	7,315	2,168	29.6	1,541.24
21年3月期	6,428	1,923	29.9	1,387.25

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,168百万円 21年3月期 1,923百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				38.00	38.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	16.2	534	15.3	530	0.9	292	5.2	210.86

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	1,407,200株	21年3月期	1,386,800株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	148株	21年3月期	148株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	1,393,975株	21年3月期第3四半期	1,363,660株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出の下げ止まりによる在庫調整が進み、景気の急激な悪化に一定の歯止めがかかりました。しかし、企業の設備投資については未だ慎重な姿勢が続いており、デフレ傾向も一段と顕著になっており、依然として景気回復の先行き不透明感は強い状況にあります。

医療業界におきましては、高齢化に伴う需要の増加により比較的安定的な市況が継続していますが、依然として医療費抑制を目的とする医療制度改革は継続されており、当社を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような情勢のもと、当社では、新規顧客開拓による商品の拡販を進めるとともに、メーカーとの関係強化、地域密着型営業の強化など、より競争力のある組織体制の確立を目指し、事業拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は11,549,818千円（前年同四半期比21.6%増）、営業利益461,691千円（同62.2%増）、経常利益497,319千円（同59.2%増）、四半期純利益273,995千円（同55.7%増）となりました。

事業区分別の売上状況は、不整脈事業では心臓ペースメーカ、電極カテーテルがともに数量を伸ばし、10,006,472千円（前年同四半期比22.6%増）となりました。虚血事業では自動造影剤注入装置「ACIST」のディスプレイ販売が順調に推移した結果、1,531,466千円（同16.9%増）となりました。その他では、11,879千円（同41.0%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前事業年度末と比較して886,573千円増加し、7,315,035千円となりました。また、純資産につきましては、前事業年度末と比較して244,961千円増加し、2,168,600千円となりました。

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は1,907,341千円となり、前事業年度末と比較して70,628千円の減少となりました。資金が減少した主な要因は、以下のキャッシュ・フローによるものです。

営業活動により得られた資金は196,629千円となりました。これは主に売上債権の増加765,085千円、法人税等の支払額254,006千円等の支出要因があったものの、税引前四半期純利益497,620千円に加え、仕入債務の増加603,757千円等の収入要因があったことによるものであり、前年同四半期と比較して145,901千円の収入増加となっております。

投資活動により支出した資金は187,455千円となりました。これは主に関係会社株式の取得による支出116,898千円、有形固定資産の取得による支出22,592千円及び関係会社貸付による支出20,000千円等の支出要因があったことによるものであり、前年同四半期と比較して117,028千円の支出増加となっております。

財務活動により支出した資金は75,977千円となりました。これは主に短期借入による収入100,000千円、長期借入による収入100,000千円、株式発行による収入19,255千円があったものの、短期借入金の返済による支出125,300千円、長期借入金の返済による支出120,340千円及び配当金の支払額48,510千円等の支出要因があったことによるものです。なお、前年同四半期は33,456千円の収入となっております。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月13日公表の「平成21年3月期 決算短信」における業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断において、経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況について大幅な変動がないため、前事業年度末に使用した業績予想やタックス・プランニングを利用しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,007,341	2,077,969
受取手形及び売掛金	3,845,048	3,079,962
商品	456,971	490,574
繰延税金資産	43,988	51,290
受託開発仕掛勘定	291,083	255,624
その他	105,215	131,475
貸倒引当金	△5,545	△5,895
流動資産合計	6,744,103	6,081,002
固定資産		
有形固定資産	141,114	122,088
無形固定資産	43,705	41,005
投資その他の資産		
投資有価証券	42,836	42,286
関係会社株式	177,971	—
差入保証金	101,088	86,749
繰延税金資産	55,190	46,919
その他	11,190	8,410
貸倒引当金	△2,164	—
投資その他の資産合計	386,111	184,365
固定資産合計	570,932	347,459
資産合計	7,315,035	6,428,462
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,919,749	3,315,991
短期借入金	100,000	125,300
1年内返済予定の長期借入金	147,002	136,952
未払法人税等	113,270	146,000
賞与引当金	32,916	75,410
売上値引引当金	34,537	—
仮受受託開発補助金勘定	305,000	268,002
その他	185,713	119,027
流動負債合計	4,838,189	4,186,683
固定負債		
長期借入金	167,765	198,155
退職給付引当金	79,106	64,607
役員退職慰労引当金	55,814	52,202
その他	5,559	3,175
固定負債合計	308,246	318,139
負債合計	5,146,435	4,504,822

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	343,127	333,437
資本剰余金	313,400	303,710
利益剰余金	1,512,185	1,286,722
自己株式	△173	△173
株主資本合計	2,168,539	1,923,697
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60	△58
評価・換算差額等合計	60	△58
純資産合計	2,168,600	1,923,639
負債純資産合計	7,315,035	6,428,462

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	9,494,786	11,549,818
売上原価	7,532,198	9,232,723
売上総利益	1,962,588	2,317,094
販売費及び一般管理費	1,678,029	1,855,403
営業利益	284,559	461,691
営業外収益		
デリバティブ評価益	18,610	—
為替差益	11,328	39,233
その他	2,988	2,533
営業外収益合計	32,926	41,767
営業外費用		
支払利息	2,710	5,001
株式交付費	1,987	124
貸倒引当金繰入額	—	1,014
その他	381	—
営業外費用合計	5,078	6,139
経常利益	312,407	497,319
特別利益		
固定資産売却益	175	301
特別利益合計	175	301
特別損失		
たな卸資産評価損	11,846	—
特別損失合計	11,846	—
税引前四半期純利益	300,735	497,620
法人税、住民税及び事業税	139,592	224,740
法人税等調整額	△14,879	△1,115
法人税等合計	124,712	223,625
四半期純利益	176,023	273,995

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	300,735	497,620
減価償却費	46,397	48,154
デリバティブ評価損益 (△は益)	△18,610	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	100	1,814
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△60,325	△42,494
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,870	14,499
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,593	3,612
売上値引引当金の増減額 (△は減少)	74,493	34,537
受取利息及び受取配当金	△1,116	△833
支払利息及び社債利息	3,091	—
支払利息	—	5,001
株式交付費	1,987	124
為替差損益 (△は益)	5,419	△1,298
有形固定資産売却損益 (△は益)	△175	△301
売上債権の増減額 (△は増加)	△117,206	△765,085
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△103,992	3,382
仕入債務の増減額 (△は減少)	102,393	603,757
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,433	20,783
受託開発勘定の増減額	△7,335	1,538
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	69	△11,687
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	31,236	42,163
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△27	△8
小計	265,845	455,281
利息及び配当金の受取額	1,214	603
利息の支払額	△3,386	△5,248
法人税等の支払額	△212,944	△254,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,728	196,629
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△173,000
定期預金の払戻による収入	—	173,000
有形固定資産の取得による支出	△13,459	△22,592
有形固定資産の売却による収入	1,770	553
無形固定資産の取得による支出	△10,759	△13,288
投資有価証券の取得による支出	—	△283
関係会社株式の取得による支出	—	△116,898
差入保証金の差入による支出	△6,177	△15,571
差入保証金の回収による収入	4,842	842
貸付けによる支出	△54,470	—
貸付金の回収による収入	8,100	—
関係会社貸付けによる支出	—	△20,000
その他	△272	△216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,426	△187,455

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△91,500	△125,300
長期借入れによる収入	130,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△117,028	△120,340
社債の償還による支出	△50,000	—
株式の発行による収入	2,255	19,255
配当金の支払額	△40,271	△48,510
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△1,082
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,456	△75,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,419	△3,825
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,339	△70,628
現金及び現金同等物の期首残高	1,567,288	1,977,969
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,575,627	1,907,341

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 生産実績

当社の事業は、商品の仕入販売であり、生産活動を行っておりませんので、該当事項はありません。

(2) 仕入実績

(単位：千円、%)

事業区分	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
不整脈事業	6,868,782	89.6	8,353,109	90.3	1,484,326	21.6
虚血事業	781,918	10.2	886,233	9.6	104,315	13.3
その他	11,999	0.2	6,505	0.1	△5,494	△45.8
合計	7,662,700	100.0	9,245,848	100.0	1,583,147	20.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当社の事業形態は、原則として受注と販売が同時に発生するため、記載を省略しました。

(4) 販売実績

(単位：千円、%)

事業区分	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
不整脈事業	8,164,639	86.0	10,006,472	86.6	1,841,832	22.6
虚血事業	1,310,024	13.8	1,531,466	13.3	221,441	16.9
その他	20,121	0.2	11,879	0.1	△8,242	△41.0
合計	9,494,786	100.0	11,549,818	100.0	2,055,031	21.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。